

事業コード	H26-建-継-02		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	河川改修事業		部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	河川事業		班 名	河川・ダム・海岸班 (tel) 018-860-2514
路線名等	二級河川 馬踏川		担当課長名	河川砂防課長 吉尾 成一
箇所名	秋田市金足岩瀬		担当者名	副主幹(兼) 班長 川村 潤
総合計画との関連	政策コード	01	政 策 名	県土の保全と防災力強化
	施策コード	01	施 策 名	健全な県土保全の推進
	指標コード	01	施策目標(指標)名	地震、治水、治山対策等による生命と財産を守る安全な地域づ

1. 事業の概要

事業期間	H05 ~ H34 (30年)	総事業費	42.3億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	計画延長L=2,170m、計画高水流量Q=90m ³ /s (1/30)					
事業の立案に至る背景	<p>馬踏川は、秋田市と潟上市を貫流し八郎湖に流入する二級河川である。当該区間は、河幅が狭く降雨の度に家屋の浸水や田畑の冠水が発生する水害頻発地帯で、この河川断面不足を解消するため、河川の拡幅等を進めていくものである。</p> <p>当初、市道堀内2号橋までの一連区間を実施した後に、整備計画の上流端である県道堀内橋までの600m区間の実施時期を検討することとしていたが、平成25年9月16日豪雨において堀内地区の県道が冠水するなどの被害が発生したため、当事業にて上流端まで延伸して整備を推進する。</p>					
事業目的	頻発する洪水被害を防止し、馬踏川沿川住民の生命と財産を守るため、河川改修事業により河川断面不足の解消及び線形等の是正を図り、県土の保全と防災力の強化を推進する。					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費	3,194,000	4,230,000	1,036,000		
	経費内訳	工事費	1,613,000	2,485,600	872,600	
		用補費	1,112,000	1,275,400	163,400	
		その他	469,000	469,000	0	
	財源内訳	国庫補助	1,597,000	2,115,000	518,000	
		県 債	1,437,300	1,903,500	466,200	
その他		0	0	0		
一般財源	159,700	211,500	51,800			
事業内容	築堤、護岸工 河道掘削 橋梁工 用地補償	築堤、護岸工 河道掘削 橋梁工 用地補償			整備計画の上流端まで600m延伸して増工する。	
事業の進捗状況	<p>全体計画 C=42.3億円 平成25年度末投資額 C=33.1億円 進捗率 78.3%</p>					
事業推進上の課題	特になし					
関連する計画等	第2期ふるさと秋田元気創造プランにおいて、県民の基礎的な生活環境を整備するために県が継続的に取り組むべき基本政策のうち、「県土の保全と防災力強化」に位置付けられている。					
情勢の変化及び長期継続の理由	当該区間は河川沿いに住宅が密集しており、家屋浸水が度々発生し地元からは早期完成が望まれているが、用地や家屋の補償に時間を要している。					
事業効率把握の手法及び効果	指 標 名	河川整備率				
	指 標 式	改修延長/要改修延長				
	指 標 の 種 類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目 標 値 a	45.3 %	データ等の出典	河川砂防課調べ		
	実 績 値 b	45.5 %				
達成率 b/a	100.4 %	把握の時期	平成26年3月			

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項 なし
	②指摘事項への対応 なし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	本河川は、秋田市と潟上市を貫流して八郎湖に流入しており、想定される浸水戸数は104戸と多く、浸水面積は201haと広い。さらに公民館や主要地方道等の公共施設も浸水する恐れがあるため、事業実施の必要性は高い。また、平成19年に馬踏川を含む馬場目圏域河川整備計画も策定しており、当河川においては関係機関との協議もすでに終えている。	28点
緊 急 性	当該区域の流下能力は、目標90m ³ /sに対して現況で20～35m ³ /s (22%～39%) 程度と低く、洪水被害が繰り返される状況にある。また、重要水防区域に位置付けられていることから、事業実施の緊急性は高い。	15点
有 効 性	当該区域には、堤防が無く河幅も狭小であることから、築堤及び河道掘削により流下断面を拡大することで、災害防止効果が発現するため有効性は高い。また、階段護岸を設置するなど親水性の向上を図っている。	15点
効 率 性	事業の費用対効果は1.26であり、効率性は高い。また、発生残土の他工区への流用や再生砕石の利用、排水樋管の統廃合などによりコストの縮減に努めている。しかし、整備計画の上流端まで事業を延伸することにより、事業費は当初計画から32.4%増加する。	10点
熟 度	地元の岩瀬地区や堀内地区から要望の声が上がっており、秋田市からも要望があることから、地元との合意形成はなされており、個別の用地補償等に時間を要しているものも進捗率は約98%と概ね順調に進んでいる。また、建設副産物の再利用や認定リサイクル製品の使用、再生砕石の利用などにより、環境に配慮しながら事業を推進している。	20点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III) 地元からの要望が強く、各項目から本事業は高く評価できる。	88点
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業実施は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

引き続きコスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 河川改修事業

事業コード(H26-建-継-02)
箇所名 (秋田市金足岩瀬)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要				
必要性	想定氾濫区域内の状況	浸水戸数	50戸以上 49~10戸 10戸未満	10 7 3	10				
		浸水面積	60ha以上 59~10ha 10ha未満	10 7 3					
			重要な公共施設	3施設以上 2~1施設 無し			5 3 0	3	
	整備計画の策定								
	関係者、関係機関との調整	整備計画策定済み 協議中であるが特段問題ない 策定に着手していないが予定がある 予定無し		5 3 1 0	5				
		計		30			28		
		緊急性	災害発生の危険度	改修目標流量に対する現況流下能力			40%未満 40~59% 60%以上	10 7 5	10
	秋田県水防計画			重要水防地域	評価基準区分A 評価基準区分B		5 3	5	
				計			15		
	有効性		河川整備の有効性	安全度	災害防止等効果が発現する 災害防止効果は現状と変わらない		7 0	7	
親水性				安全に川と親しむ場として利用が見込まれる 親水性は現状と変わらない	5 0	5			
地域開発の状況		都市計画区域の存する地域 地域開発の計画がある 予定無し	3 1 0	3					
		計			15	15			
効率性		事業の投資効果	費用便益比 (B/C)	1.0以上 1.0未満	5 0	5			
	事業実施コストの削減		該当項目数	3項目以上 2項目 1項目 無し	5 3 1 0		5		
		当初計画との比較	当初計画事業費からの削減	減少または10%未満の増加 10%以上30%未満の増加 30%以上の増加	5 3 0	0			
			計		15			10	
	熟度		地元との合意形成の状況	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている 意向が強く要件の同意を概ね得ている 意向が一部で強いがまだ要件の同意は得ていない		5 3 1	5	
		市町村の参画		積極的に参画し要望書等の提出がある 参画している 参画していない	5 3 0	5			
				事業の進捗状況					
進捗率		計画より進捗している 概ね進捗 (90~100%未満) 計画より遅れている (90%未満)	10 5 3	5					
		環境との調和への配慮状況	環境保全への配慮		システムでの環境配慮事項が3事項以上 システムでの環境配慮事項が1~2事項 システムでの環境配慮事項がない	5 3 0	5		
			計			25		20	
合計				100	88				

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		